

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鎌倉紅谷小田原工場新築工事	階数	2階
建設地	神奈川県小田原市栢山字苅分1146番1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	115 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年5月2日
敷地面積	4,940 m <sup>2</sup>	作成者	北野建設株式会社
建築面積	1,970 m <sup>2</sup>	確認日	2024年5月2日
延床面積	3,856 m <sup>2</sup>	確認者	北野建設株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 省エネルギー性に配慮した高効率機器の採用や、緑の創出によりCO <sub>2</sub> 排出量を削減し、温熱環境の改善・向上に努めた。		
<b>Q1 室内環境</b> 告示対象外及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆の材料の採用等により化学汚染物質を排除し、空気環境の保全に努めた。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い建築・設備資材を使用し、更新時においても部材の損傷が軽微で済むように配慮した。将来における用途変更の可能性を考慮し、階高・空間形状についてゆとりを持たせた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑化による敷地外への熱負荷の低減に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明等の省エネルギー性に配慮した高効率機器を採用し、熱負荷の抑制を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 構造材と内装材の分別を容易にするリサイクル促進対策等を通じて、建築物のライフサイクルにおける資源・マテリアル消費の低減に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物による敷地外への光害・日影の影響を考慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される